

生物起源微量ガスワークショップ 2010 プログラム

11月15日 会場：京都大学吉田キャンパス 工学部6号館共同1講義室(163)

プロジェクト紹介 (座長：谷 晃)

13:00-13:20 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究「東アジアにおけるエアロゾルの植物・人間系へのインパクト」の概要

東野 達 (京都大学)

フィールド観測 I (座長：松永 壮)

13:20-13:40 熱帯林・亜熱帯林生態系における塩化メチルの放出と吸収

斉藤 拓也、横内 陽子 (国立環境研究所)

13:40-14:00 REA法を用いた温帯混合林におけるイソプレンフラックスの測定

木下 数博, 奥村 智憲, 中川 健太, 東野 達 (京大院エネ科), 小南 裕志, 深山 貴文 (森林総研関西), 米田 稔(京大工), 鱧谷 憲 (大阪府大), 谷 晃 (静岡県大環境研)

14:00-14:20 富士吉田カラマツ林のモノテルペンフラックス測定

望月 智貴, 安田 倫己, 谷 晃 (静岡県大), 植山 雅仁, 鱧谷 憲 (大阪府大), 奥村 智憲, 東野 達 (京大), 高橋 善幸(国環研)

14:20-14:30 休憩

フィールド観測 II (座長：斉藤 拓也)

14:30-14:50 福江島におけるイソプレン観測

野副 晋、高見 昭憲、横内 陽子 (国環研)

14:50-15:10 水稻葉からのアンモニア放出

林 健太郎, 常田 岳志, 長谷川 利拡 (農業環境技術研究所)

15:10-15:30 森林域におけるイソプレン由来有機エアロゾルの観測

奥村 智憲, 川本 純平, 東野 達 (京大院エネ科), 小南 裕志, 深山 貴文 (森林総研)

PTR-MSを用いたVOC測定 (座長：横内 陽子)

15:30-15:50 南大洋でのPTR-MSを用いて観測した大気DMS濃度の分布

古賀 聖治 (産総研)

15:50-16:10 イソプレン酸化物のメチルビニルケトンとメタクロレインの植物による吸

収

谷 晃（静岡県立大学）

16：10－16：30 山城試験地における PTR-MS 観測について

深山 貴文（森林総合研究所）

16：30－16：40 休憩

インベントリ作成とそれに向けた基礎データ測定（座長：奥村 智恵）

16：40－17：00 神奈川県環境科学センターの BVOC 研究に関する取り組み

小松 宏昭（神奈川県環境科学センター）

17：00－17：20 資源構成表によるスギとヒノキの資源量推計と、モノ・セスキテルペンの
放出量推定

○松永 壮、中塚 誠次（財団法人石油産業活性化センター）、茶谷 聡（財団法人石油産業活性化センター、豊田中央研究所）、谷 晃（静岡県立大学）

17：20－17：40 1850-2005 年の VOC(イソプレン・モノテルペン)放出の Global-Map の
作成

田中 克典，斉藤 和之（JAMSTEC）

見学サイト紹介（座長：谷 晃）

17：40－18：00 山城試験地における炭素循環プロセス研究の概要

小南 裕志（森林総合研究所）

プロジェクト紹介（座長：谷 晃）

18:00－18:20 JapanFlux および A3 プロジェクト（CarboEastAsia）の紹介

平野 高司（北大）

11月16日 会場：アスパシア山城グリーンホール

微量ガス研究の新展開（座長：平野 高司）

9：30－9：50 VOC計測技術の農業分野への利用の検討－太陽光利用型植物工場における植物診断－

高山 弘太郎（愛媛大学）

9：50－10：10 通気式土壌培養ガス代謝測定システムについて

米村 正一郎（農業環境技術研究所）

微量ガス放出におよぼす環境要因

10：10－10：30 アブラナ科植物から発生する硫化カルボニル

片山 葉子（東京農工大学）

（座長：米村 正一郎）

10：30－10：50 水稲主要品種から放出される VOC

吉田 真理子，谷 晃（静岡県大），米村 正一郎（農環研），松永 壮（石油産業活性化センター）

10：50－11：10 天敵誘引剤を用いた害虫管理：実証圃場における誘引剤の分布と寄生率

高林 純示（京大生態研）

11：10－11：30 オゾンと CO₂ の長期暴露がコナラとミズナラのイソプレン放出におよぼす影響を調べる OTC 実験

斉藤 亮，伊藤 創平，酒井 坦，谷 晃（静岡県立大学）

11：30－11：50 針葉樹から発生するモノテルペンの光量依存性の定量評価

橋本 翔（大阪大学大学院工学研究科）

『Biogenic Trace Gas Workshop in Japan』

2008年 静岡県立大学

プログラム

1日目

13:00 開会挨拶 谷 晃 (静岡県立大学)

13:05 環境科学研究所長挨拶 岩堀 恵祐

(座長 谷 晃)

13:10 **基調講演** 横内 陽子 (国立環境研究所)

『植物起源微量ガス研究の30年の変遷』

(座長 松永 壮)

一般講演

放出特性Ⅰ：テルペン類

14:00 野副 晋 (財団法人 環境科学技術研究所)

『アカマツの森林におけるモノテルペン高度分布とフラックス』

14:20 中川健太, 奥村 智憲 (京都大学大学院) [ショート]

『コナラ群落からのイソプレンフラックス測定』

14:35 屋 宏典 (琉球大学)

『熱帯樹木ハマイヌビワのためのG93イソプレン放出モデルの改変』

14:55~15:05 休憩

(座長 高橋 善幸)

放出特性Ⅱ：ハロカーボン, その他 (メタンを除く)

15:05 斉藤 拓也 (国立環境研究所)

『東南アジア熱帯林から放出される塩化メチルとイソプレン』

15:25 米村 正一郎 (農業環境技術研究所)

『生態系への非GHG吸収と葉を含む有機体からの光酸化によるガス発生』

15:45 橋本 伸哉 (静岡県立大学)

『海洋植物プランクトンによる微量ガスの生成』

16:05 須藤重人 (農業環境技術研究所)

『水田から発生するハロゲン化メチル』

16:25 松永 壮 (JPEC)

『機能性BVOCの放出とその特徴』

16:45~16:55 休憩

(座長 横内 陽子)

環境ストレスと放出

16:55 近藤 明 (大阪大学)

『オゾン暴露による樹木からのBVOC排出量の変化』

- 17:15 大野 卓夫 (静岡県立大学大学院) [ショート]
『長期オゾン暴露がコナラとヒノキからのテルペン類放出におよぼす影響』
- 17:30 青木 正敏 (東京農工大学)
『VOC とオゾンによって生成した大気中超微量過酸化物の植物と昆虫に及ぼす毒性影響』
- 17:50 矢崎 一史 (京大大学生存圏研究所) 特別講演 (30分)
『イソプレン合成酵素導入シロイヌナズナとその高温ストレス耐性』
- 18:40～ 懇親会 (静岡県立大学食堂)

2日目

(座長 米村 正一郎)

国際会議案内

- 9:30 檜山 哲哉 (名古屋大学)
『地球惑星科学連合大会スペシャルセッションと iLEAPS 第2回国際会議』

放出特性Ⅲ：メタン

- 9:40 深山 貴文, 小南 裕志 (森林総合研究所関西支所)
『京都府南部の非湿地林におけるメタン放出源の検討』
- 10:00 植山雅仁, 鱧谷憲 (大阪府立大学)
『簡易渦集積法により高精度にフラックスを測定するために』
- 10:20 西村 渉 (大阪府立大学) [ショート]
『森林におけるメタンフラックスの連続観測』
- 10:35 高橋 善幸 (国立環境研究所)
『微気象学的手法による森林群落スケールでの微量ガス交換量の観測』
- 10:55～11:10 休憩

(座長 齊藤 拓也)

BVOC の周辺研究

- 11:10 谷 晃 (静岡県立大学)
『リアルタイム VOC 測定法によりわかった BVOC の放出特性』
- 11:30 杉浦瑞枝 (静岡県立大学)
『レモンマートル由来モノテルペン合成酵素と機能解明』

テルペン類放出種の同定とインベントリ作成

- 11:50 奥村 智憲 (京都大学)
『関西地域における植物起源 BVOC 放出量の推定』
- 12:10 閉会の挨拶 谷 晃 (静岡県立大学)